

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp

1月号

本年も どうぞよろしくお願いいたします

学校長 鈴木 和枝

令和6年の幕が開きました。

そして、学校にも、子どもたちの元気な声が帰ってきました。一年で一番短い3学期ですが、来年度につながる「締めくり」の時期のスタートです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



この「さわの里だより」でも何回かご紹介させていただきました、本校正門を入れて真正面にある円形花壇、そして体育館前の大鉢、プランターですが、この年末年始の休業中も、たいへん美しい花を咲かせていました。ひっそりとしたロータリーの中で、寒さをものともせず咲き誇っている花々は、ガーデニングボランティアの方々、そして環境掲示委員会の児童の手によって植えられ、手入れをされているものです。

また、実は、校舎1階職員室や保健室前の廊下窓の飾り棚には、昨年度の卒業式、入学式の2回の式で会場を彩ったベゴニアの鉢が、まだ元気に越冬しています。種類にもよるかと思うのですが、ベゴニアは宿根草だそうです。本校の技術員が水やりや日の当て方などを加減しながら、ここまで枯れることなく、あの猛暑も越えてきています。

さらに校舎周りを見ると、1年生が育てている花の球根（チューリップやヒヤシンス、クロッカス、スイセン）も、冷たい風に当たりながらも、暖かい日差しが降り注ぐ春を待ちながら、土の中にぐっと根を張っているに違いありません。校庭に置いてあるプランターには、いくつかの種類の花が育ってきつつありますが、その中に年明け早々濃い紫色のスミレが一つ花を付けました。

さて、今年は「辰年」。そして、十干の「甲」と十二支の「辰」が組み合わせられた「甲辰（きのえたつ）」が今年の正式な干支だそうです。「甲（きのえ）」は、種子が厚い皮に守られてまだ芽を出さない状態や、物事に対して静かに待つ状態を表し、さらには生命や物事の始まりや成長をも意味するとされています。そして、「辰（たつ）」ですが、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表すそうです。また十二支の中で唯一架空の生き物である「龍」をも意味しており、昔から「龍が現れるとめでたいことが起こる」との言い伝えもありました。「甲辰」の今年は、努力、忍耐が、目標を成し遂げることにつながるとも言えるそうです。

子どもたちにとって、この年始めは、「今年はこんな一年にしたい。」という新しい目標を見据え、その目標に近づくために、どんな毎日を過ごしていくか、その具体の行動を考え、実行に移す大事な時期です。12月には、6年生から5年生に「リーダーとしての自覚と責任」が引き継がれた「リーダー交代式」もありました。新たな気持ちで、子どもも教職員も努力を積み重ね、春の芽生えを目指し頑張ります。

最後に、このたび、石川県能登地方で発生した「令和6年能登半島地震」により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、被災された方の救済、被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表する次第でございます。